

科目名	教育実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	4	1.2年次	通年			
担当者名	久光明美・村上玲子 廿 麻乃・徳永 良枝	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修				
授業概要 幼稚園における子どもとのふれあいを通して、保育者となるための体験を積み、保育者として求められる基本的な態度や能力を培う。							
到達目標 ①幼稚園における人的・物的環境、一日の流れ、教諭の活動内容、子どもの生活の様子などを理解する。観察を通して、子どもの個々の活動、集団の活動、教諭と子どものかかわりなどを具体的に理解する。 ②子どもとのふれあいを通して具体的な援助の仕方を体得する。 ③幼稚園の教育課程や指導計画を理解し、立案・環境構成など実施に至るまでの実際について学ぶ。			成績評価方法 実習評価表 実習日誌 提出物による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	90
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1年前期 5日間（付属幼稚園） 1.保育の1日の流れを把握し、教諭の活動内容を観察する。 2.子どもの遊びを中心に生活の様子、活動を観察する。 3.教諭と子どもの関わり方などを観察し、保育に補助的に参加する。 4.事前学習した教育計画が実際の保育でどのように展開されているか観察する。 5.子どもたちの実態を踏まえて、読み聞かせ、手遊び、弾き歌いなどの							

部分実習を実践する。	
2年前期 5日間 (外部幼稚園)	
<ol style="list-style-type: none"> 1.園の生活に主体的に参加し、1日の流れを理解する。 2.観察や関わりを通して子どもたちの遊びや生活の実態を理解する。 3.子どもとのふれあいを通して援助の仕方を学ぶ。 4.望ましい環境整備、教材の準備など、教諭の役割を学ぶ。 5.子どもたちの実態を踏まえて、部分実習の指導計画を立案し、保育を実践し、事後、指導担当教諭から指導を受ける。 	
2年後期 10日間 (外部幼稚園)	
<ol style="list-style-type: none"> 1.1日の生活の中で日常繰り返す活動に積極的に参加する。 2.配属された各年齢児の発達の特徴を把握する。 3.クラス全体を把握しながら個別的な関わりをもつ。 4.教諭の指導案に基づいた保育に補助的立場で参加し、子どもとのふれあいを通して共感関係を形成するとともに援助の方法を習得する。 5.そのクラスの保育を展開するにふさわしい環境設定を行う。 6.クラス指導計画を整理し、1日の指導案を作成し、実践する。 7.これまで学んできた理論と実習での実践を関連づけながら、自己の保育観、倫理観を高める。 	
授業外学習	
<p>実習事前準備として指導案の作成、教材研究等に積極的に取り組む。</p> <p>振り返りレポートの作成をし、事後指導へ生かす。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・実習のしおり ・「幼稚園教育要領」文部科学省 ・保育小六法 	教育実習指導
備考	